

健康保険証の存続求めるたたかい、広がる

全国80議会が意見書を採択

健康保険証の存続をめぐる動きについて、日本共産党中央委員会自治体局からの情報です。ご案内のように、マイナンバーカードは、カードの読み込み不具合をはじめ、医療費の誤請求、各種証明書の誤発行、銀行口座のひも付けミスなどが頻発し、国民の信頼が失墜した岸田政権の支持率は急落しました。

政府は、来年秋のマイナンバーカードと健康保険証の一体化による紙の保険証廃止を強行しようとしていましたが、国民と関係団体などの怒りと運動によって、岸田首相も所信表明で、「さらなる期間が必要と判断された場合は必要な対応を行う」と述べざるを得なくなっています。

地方議会では、「健康保険証の存続を求める意見書」が、9月議会までに全国80自治体で採択（趣旨採択含む）されていることが「全国保険医

団体連合会」の調べで明らかとなっていました。

意見書の内容は、「マイナンバーカードと健康保険証を一体化することにより、『マイナ保険証』を持たない人は毎年『資格確認書』の申請が必要となり、また『マイナ保険証』を持つ人も5年ごとに更新が必要なため、申請や更新の手続きを失念した場合に「無保険」扱いとなって保健医療が受けられなくなるなど、国民の負担が大きい上に、『資格確認書』を毎年発行することで自治体や保険組合の業務が膨れ上がることが懸念される」（北海道北広島市議会）などとなっています。

都道府県別にみると、意見書を採択した議会が一番多いのは長野県27、次いで北海道11、以下、福岡県7、神奈川県6、埼玉県5の順です。



【ガッツアリア】キク科多年草。皇帝ダリア（キダチダリア）のハイブリッド種です。皇帝ダリアに比べて、草丈は低く、花付きも良く、育てやすいとか。草丈は1鉢50株ほどです。花期は春から晩秋までです。花言葉は「乙女の真心」「乙女の純潔」です。写真は11月3日の昼頃、牧区鷲尾にて撮影しました。



はーとぴあ中郷で4日開催された縄文文化講演会の講師は著名な考古学者・岡村道雄さんでした。

岡村さんは専門的なことを並べ立てるのではなく、当時の住民の暮らしぶりを思い出すことができるようにした話の展開でした。とくに食生活に触れた、「ゼンマイ、ワラビなどはこの地域の和食の原点だ。ウルシの若芽も食べられる」「サルナシで酒を造った」などの話には惹かれました。



大瀧作品展で見かけた盆栽の「ダイヤモンドソウ」。

浄福寺で今年もチャリティーコンサート

柿崎区の浄福寺で5日、チャリティーコンサートが行われました。同コンサートは、今回で6回目とか。今回はポリオなどのワクチンを必要とする人たちへの支援が目的です。

本堂が満員となる中で、「クレア」や「ピアス」など5組のグループの人たちが演奏しました。いずれも素晴らしい演奏でしたが、「クレア」の平山さんが歌った別府葉子の「愛を抱きしめて」を聴いていたら、突然、涙が出てきて困りました。イラストはその「クレア」。



はしづめ法一の活動レポート

No.2133 2023.11.12
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第七八〇回 海にかかった虹

幸運と言えば幸運でした。

連れ合いのキョウダイとの小旅行で、柿崎のマリンホテルハマナスに泊まった翌日の朝八時頃のことです。窓の外を見ていた一人が、「あっ、虹が出ています」と言ったので、すぐに窓のそばまで行きました。「おお、これは素晴らしい」と思いました。荒れ狂っていた海の上にきれいな虹の橋ができていたのです。

カメラを持って窓際で撮影しましたが、窓ガラスには波のしぶきがかかっています。たし、ガラスに網が入っていて、うまく撮れません。それで、サンダルに履き替えて、海が直接見える場所まで行きました。この日は、まともにも立っていることができないくらい強い風が吹き荒れていました。それでも脇を固め、カメラを構え、何とか撮影することができました。

これまでの私の人生では何度か素敵な虹と出合っています。刈り取り前の黄色い田んぼの上空にかかった虹などです。そのたびに虹はいつもきれいだなと思ってきました。でも、海にかかった虹を見るのは今回が初めてでした。消えないうちにといいながら、四枚ほど写真を撮りました。

撮った写真の一番手前には、しぶきを上げた波があり、虹の橋のバックには雲が横たわっています。そして、その雲の上は真っ青な空です。願ってもない風景写真となりました。

その後、食堂へ行きました。すでに連れ合いや義兄などがテーブルについていました。そこでも虹が話題の中心になっていました。寒くなってからの虹はすぐ消えると言われていますが、この日の虹は何と四〇分以上も持ちこたえました。

この日、朝食に出されたおかずは、納豆、焼いた鮭の切り身、半熟の卵、サラダ、シラスなどの生野菜でした。前の晩の夕食の時もそうでしたが、目の前に出され

た食べ物そのものやそれにまつわる話が必要で、楽しんで食べました。

まずは鮭の切り身です。これがまた良く焼けていて美味しかったです。今年は鮭が異常に少なく、高価だと聞いていましたが、みんなで「美味しいね」を連発していただきました。

自分で作った料理はそれとしての魅力があります。旅に出て、他人に作ってもらった料理をいただくのは、また別の喜びがあるんですね。特に義姉などの「美味しいね」には一味違った雰囲気があったように思います。

食後、私がコーヒーを飲むと、連れ合いや義姉もコーヒーを飲み、連れ合いはさらにコーラももらってきました。再び席に座った連れ合いは、「うちはあんちゃんが買ってきたような気がする。苦いとか言ってます……」と言いました。その話の続きで、私からもひといいました。

「じつは、この間、Kさんから弟に渡してくれと言われ、コーラのビン、預かったんだわ。渡さないうちに「くっ」なっちゃった」とすると、連れ合いが、

「コーラのビンに、花生けてやればいいんじゃない。前に勇くん、ホテルブクロが咲いたと言ってる、ビンに入れて持ってきてくれたことがあるよ」

話の間に何度も海を見ましたが、そのたびに、「まだ虹が出ている。すごいね」という声が出ました。

私が撮影した虹の写真の一枚は全国に発信しました。私が発信した写真を見た一人に、その日の朝、お連れ合いを亡くされた女性がいました。その方が「心洗われる虹を見せていただき、ありがたくて……」というコメントを寄せてくださいました。

虹は悲しみを乗り越える力を与えてくれます。四〇分もの長い時間にわたり美しい虹を見せてくれた、この日に感謝です。

青空の下、各地で盛大にイベント

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月31日(火)	11月8日(水)
上越南消防署	0.053	0.047
上越北消防署	0.040	0.040
新井消防署	0.057	0.047
頸北消防署	0.040	0.043
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.043	0.050
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.050	0.057

3日は3連休初日で文化の日。青空が広がったこともあって、市内各地で開催されたイベントは大勢の参加でにぎわいました。左のイラストは安塚区総合事務所前で行われた大浦安の元氣市での体験コーナーの様子です。各地特産の野菜等を売る店も人気でした。



右のイラストは吉川コミカラの作品展の一角で行われた押し花を使った作品づくり体験です。押し花愛好家だけでなく、親子連れで作品づくりを楽しみ姿も見られました。こうい体験を契機に作品展の輪が広がると思います。

